

台湾・日本小児シンポジウム2019

日本小児科医会国際委員会委員 進藤静生

日本小児科医会と高雄小児科医会・台湾小児科医会は10数年来交流があります。2019年は日本小児科医会のメンバーが、台湾の台北・高雄の両都市を訪問しました。

参加者は国際委員会から田原卓浩担当副会長、関場慶博業務執行理事、具志一男理事、荒木速雄委員、進藤静生委員、そして参加募集に応じた一般会員から山田正明先生、岡田純一先生、小田嶋博先生、竹内孝仁先生、宇梶光太郎先生です。

11月22日午後に台北到着後、台湾小児科医会会長や理事の先生方、旧知の劉先生及び呂・台北大学小児科名誉教授など懐かしい顔ぶれの先生方と再会する事ができました。この日はまず田原副会長が日本の「成育基本法」について解説されました。台湾の先生方からは台湾でもその様な法律の制定が必要だとの意見が聞かれました。その後は小児科領域での両国の問題点について意見交換を行ったり旧交を温めたりしました。

翌日、23日は日本のテレビドラマでも有名になった、台湾高鉄（新幹線）で台北駅より約1時間半の後、左榮駅（高雄）に到着しました。

左榮駅では顔見知りの劉、王、先生などが歓迎の横断幕を準備して迎えてくれ

ました。昼食もそこそこに会場に着くと別便で福岡より単独で宇梶光太郎先生が到着して待っておられました。

会場であるハイライホテルでは頼聰宏会長・陳武元副会長の挨拶から日・台小児シンポジウムがスタートしました。

- ① 竹内孝仁先生による『Can gastric lesions be evaluated in the clinic』
- ② 小田嶋博先生による『Laboratory findings relating the course of asthma from the 1st to 6th grades of elementary school in epidemiological study』
- ③ 山田正明先生による『Pathological internet use and risky behaviors among elementary school children: Toyama Safety Internet Use Workshop』

の発表があり、

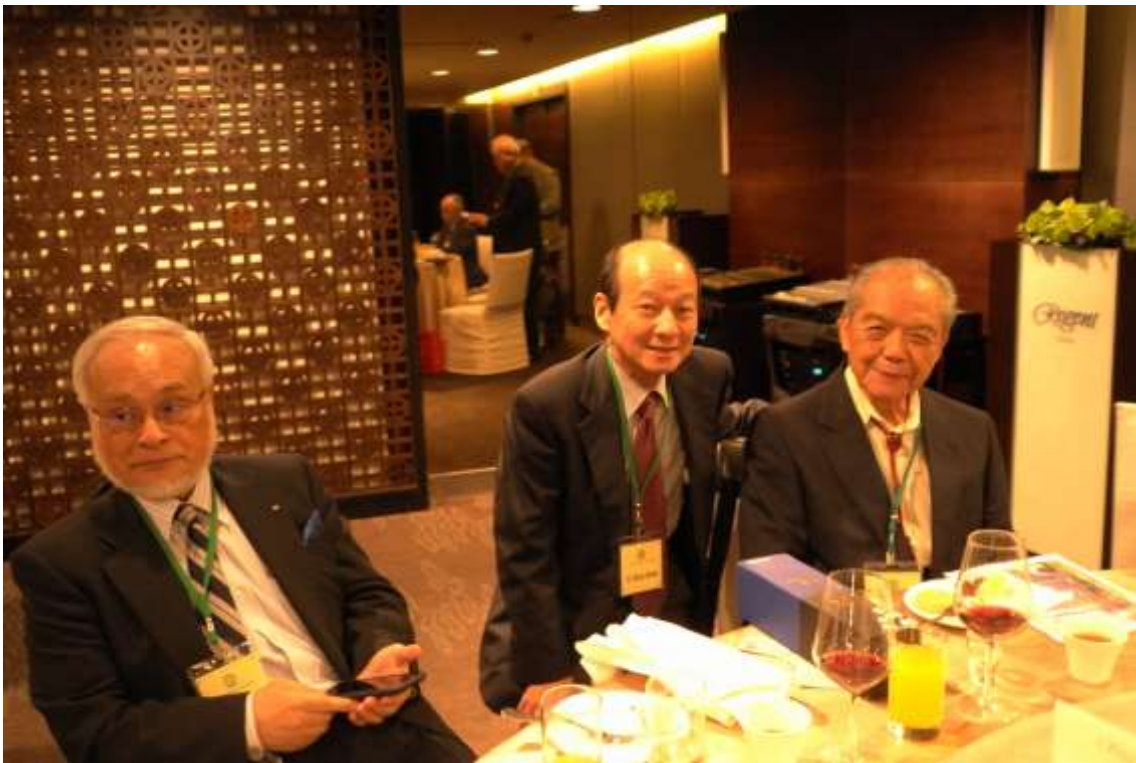
台湾側からは

- ④ Hong-Chang Lee 先生による『Prevention and management of milk allergy』
- ⑤ Su-Hang Juo 先生による『RNA interference in the treatment of pediatric myopia』

の発表があり、活発な討論が行われました。



台湾小児科学会の理事の先生方との交歓会



呂名誉会長と関場担当理事と進藤



2019年11月23日、日本・台湾小児科シンポジウム開催



頼聰宏・高雄小児科医会会長の開会のあいさつ



関場慶博担当理事のあいさつ



竹内孝仁先生の発表（前日夜市で購入した台湾国旗の T シャツへ着替て）



小田嶋博先生の発表と座長の森田潤先生のあいさつ